

クローズアップ!!

12月定例会で 改選後の新体制が 決まりました!

◆ 議長 …………… 渡邊 清司

◆ 副議長 …………… 伊藤 真人

◆ 議会選出の監査委員 …………… 飯田 尚人

※なお、任期は申し合わせにより1年です。

常任委員会

◎…委員長／○…副委員長

議員は必ず一つの常任委員会に所属し、本会議から付託された議案や請願を審査します。なお、12月定例会から次の3委員会となりました。

◆ 総務安全委員会 …………… 市の計画、財政、防災、消防などに関すること

◎市野善隆 ○満仲正次 中村浩三 愛敬重之
渡邊清司 石田正子 竹石正徳 伊藤研司
岡村信子

◆ 教育福祉委員会 …………… 学校教育、福祉などに関すること

◎松田正美 ○大森 啓 箕浦逸郎 畑 紀子
倉田明子 飯田尚人 伊藤恵一 星野公平
飯田一美

◆ 都市経済委員会 …………… 産業、環境、公園、道路、上下水道などに関すること

◎辻内裕也 ○富田 薫 大橋博二 小川満美
伊藤真人 水谷義雄 南澤幸美 佐藤 肇

特別委員会

◎…委員長／○…副委員長

特定の問題を調査するために必要に応じて設置されます。

◆ 新病院の整備に関する特別委員会 …………… 新病院の整備に関すること

◎飯田一美 ○大橋博二 富田 薫 松田正美
倉田明子 飯田尚人 星野公平 竹石正徳
岡村信子

◆ その他の委員会・検討会 ◎…委員長・座長／○…副委員長・副座長

◆ 議会運営委員会 ……………

議会の円滑な運営と効率的な議事の進行を図るために設置

◎南澤幸美 ○倉田明子 中村浩三 松田正美
飯田尚人 市野善隆 大橋博二 佐藤 肇

くわしいことは 少人数で 徹底的に議論!



都市経済委員会のように

市政の課題は多岐にわたり、また、市民の皆様の要望を着実に市政に反映させるため、市議会では課題別に少人数で専門的に話し合う委員会を設置し、様々な活動を行っています。

各委員会の積極的な活動が、市議会の持つ「監視」「調査」「政策形成」といった機能の強化につながっています。

12月定例会から各委員会のようすをインターネットにより生放映しています。

◆ 広報広聴委員会

市議会だよりの編集、発行や議会の広報、広聴等に関すること

◎伊藤真人 ○石田正子 満仲正次 畑 紀子
愛敬重之 市野善隆 小川満美

◆ 議会改革検討会

議会の更なる活性化と議会機能の向上を目指すため設置

◎佐藤 肇 ○畑 紀子 辻内裕也 愛敬重之
石田正子 伊藤研司

その他の議会

◎…議長

◆ 桑名・員弁広域連合議会

桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町の広域的な計画などに関する議会

◎大橋博二 中村浩三 大森 啓 満仲正次
畑 紀子 松田正美 市野善隆 伊藤真人
伊藤恵一 星野公平

◆ 桑名広域清掃事業組合議会

桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町のごみ処理に関する議会

◎竹石正徳 箕浦逸郎 富田 薫 愛敬重之
倉田明子 飯田尚人 石田正子 佐藤 肇

◆ 三重県後期高齢者医療広域連合議会

三重県内全市町の後期高齢者医療広域連合議会

渡邊清司

会派構成を紹介します。

会派名 桑風クラブ・無会派

8人

会長 佐藤 肇
幹事長 市野 善隆

会派名 フォーラム新桑名

4人

飯田 一美
南澤 幸美
渡邊 清司
大森 啓
富田 薫
中村 浩三

会長 松田 正美
幹事長 愛敬 重之

倉田 明子
伊藤 真人

会派名 新志会

4人

会長 辻内 裕也
幹事長 満仲 正次

飯田 尚人
大橋 博二

会派名 日本共産党桑名市議団

2人

団 長 星野 公平
副団長 石田 正子

会派名 公明党桑名市議員団

2人

団 長 竹石 正徳
副団長 畑 紀子

会派に属さない議員

無会派

箕浦 逸郎

無会派

小川 満美

無会派

伊藤 恵一

無会派

水谷 義雄

無会派

伊藤 研司

無会派

岡村 信子

「会派」って何？

市政に対して同じ考えを持った議員同士が集まって一緒に活動するグループのことを呼ぶものです。
(桑名市議会基本条例第八条)

「会派」って何人からなの？

桑名市議会では申し合わせにより、正式な会派となるには3人以上の所属議員が必要ですが、2人の会派、会派には所属しない議員もいます。なお、この「会派」というのは、法令では地方自治法第百条第十四項及び第十五項の地方議会における政務活動費を規定したところに表記されています。その法令上では、「会派」について人数は定義されていません。桑名市議会の「政務活動費の交付に関する条例」では、第三条において、会派について、所属議員が2人以上の場合をいい、政務活動費の交付においては2人以上を会派としています。

「会派」と「派閥」ってどう違うの？

「会派」が法的に認められている任意の議員集団であるのに対し、「派閥」は、組織内において様々な関係で集まった議員によって構成され、法的に認められていない点で異なります。

12月定例会の概要



12月9日から12月26日までの18日間の日程で開催しました。

今定例会では、「平成26年度桑名市一般会計補正予算(第4号)」のほか、国民健康保険事業などの特別会計補正予算、水道事業、下水道事業の企業会計補正予算や「桑名市組織条例の一部改正について」、「新市建設計画の変更について」など市長提案の28議案を審議し、いずれも可決・承認しました。

このほか、公平委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、監査委員の選任などの人事案件7件(追加議案)に同意しました。



平成26年12月定例会主な表決結果

(議案35件、報告4件)

区分	番号	件名	賛成	反対	退席	除斥
市長提出議案	第126号	平成26年度桑名市一般会計補正予算(第4号)	18	5	0	0
	第127号	平成26年度桑名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	19	4	0	0
	第128号	平成26年度桑名市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	19	4	0	0
	第129号	平成26年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	19	4	0	0
	第130号	平成26年度桑名市水道事業会計補正予算(第2号)	19	4	0	0
	第131号	平成26年度桑名市下水道事業会計補正予算(第1号)	19	4	0	0
	第132号	桑名市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	18	5	0	0
	第133号	桑名市職員給与条例及び桑名市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	19	4	0	0
	第134号	平成26年度桑名市一般会計補正予算(第5号)	21	4	0	0
	第137号	平成26年度桑名市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	23	2	0	0
	第139号	桑名市組織条例の一部改正について	21	4	0	0
	第140号	桑名市個人情報保護条例の一部改正について	22	3	0	0
	第141号	桑名市国民健康保険税条例の一部改正について	22	3	0	0
	第142号	桑名市多度福祉会館条例の廃止について	23	2	0	0
	第143号	桑名市健康増進施設PFI事業者選定委員会条例の制定について	21	4	0	0
	第145号	桑名市勤労青少年ホーム条例の廃止について	23	2	0	0
	第147号	桑名市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	22	3	0	0
	第148号	桑名市立幼稚園条例の一部改正について	23	2	0	0
第151号	新市建設計画の変更について	22	3	0	0	
第152号	平成26年度桑名市一般会計補正予算(第6号)	23	2	0	0	
第154号	教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて	23	2	0	0	

※全会一致で可決・承認された議案については省略しています。※議長は、採決に加わりません。※個人別表決結果はホームページをご覧ください。

一般会計補正予算の主な内容

●児童通所支援給付費(40,327,000円)

放課後等デイサービスを利用している児童の増加に伴う児童通所支援給付にかかる経費です。

●農地中間管理事業費(15,238,000円)

農地中間管理機構(三重県農林水産支援センター)を利用して、農地の集積を行い、効率的な農業経営を行うための支援にかかる経費です。

●学力・教師力向上推進事業費(1,432,000円)

多度北小学校において実施する学力定着への支援に関する調査研究のための経費と三重県版学力テスト「みえスタディ・チェック」実施のための経費です。

審査案件 委員会開催日:12月19日〔審査件数:9件〕

- 議案第125号 専決処分の報告及び承認を求めるについて(平成26年度桑名市一般会計補正予算(第3号))
- 議案第134号 平成26年度桑名市一般会計補正予算(第5号)所管部門
- 議案第139号 桑名市組織条例の一部改正について
- 議案第140号 桑名市個人情報保護条例の一部改正について
- 議案第146号 桑名市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- 議案第147号 桑名市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について
- 議案第150号 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会規約の変更に関する協議について
- 議案第151号 新市建設計画の変更について
- 議案第152号 平成26年度桑名市一般会計補正予算(第6号)

主な質疑

桑名市組織条例の一部改正及び桑名市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定に対する質疑

Q スポーツや文化の分野において各種行事が予定されている中、教育委員会が所管している生涯学習、スポーツ振興、文化に関する事務の移管先が総務部でよいのか。

A スポーツと健康づくり、文化と観光振興など、施策を進める上で連携する場面が多くなっている状況等も踏まえ、様々な部門とつながりが持ちやすい総務部に移管するものである。

新市建設計画の変更に対する質疑

Q 『第8章 新市建設計画の推進について』における地域審議会関連の記載の修正は行わないのか。

A 今回の計画変更が合併特例債の制度改正に伴う特例的なものであること、また、これまで計画に基づき実施してきた事業との整合性を図る必要があることから、修正は限定的なものにとどめている。

平成26年度桑名市一般会計補正予算(第6号)に対する質疑

Q ◆ふるさと応援寄附推進事業費について
寄附額の2分の1としている記念品の報償費と事務費を差し引くと、約48%の利益率になると思われる。

審査案件 委員会開催日:12月19日〔審査件数:8件〕

- 議案第134号 平成26年度桑名市一般会計補正予算(第5号)所管部門
- 議案第135号 平成26年度桑名市国民健康保険事業特別会計(第3号)
- 議案第137号 平成26年度桑名市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
- 議案第141号 桑名市国民健康保険税条例の一部改正について
- 議案第142号 桑名市多度福祉会館条例の廃止について
- 議案第143号 桑名市健康増進施設PFI事業者選定委員会条例の制定について
- 議案第144号 桑名市国民健康保険条例の一部改正について
- 議案第148号 桑名市立幼稚園条例の一部改正について

主な質疑

平成26年度桑名市一般会計補正予算(第5号)所管部門に対する質疑

◆学力・教師力向上推進事業費について

Q みえスタディ・チェックを行うことによる授業時間数、子ども及び教師への影響は、これまでも十分、授業時間数は確保できており問題はない。また、影響については新たなことに取り組むと少なからず何らかの負担は生じると考える。子どもたちにとって様々な機会を捉えて学習していくことは大きなことであり、その機会の一つと捉えている。

A これまでも十分、授業時間数は確保できており問題はない。また、影響については新たなことに取り組むと少なからず何らかの負担は生じると考える。子どもたちにとって様々な機会を捉えて学習していくことは大きなことであり、その機会の一つと捉えている。

Q ◆私立保育園施設運営費について
入所児童が急増している間、待機児童は出していないか。

A 入所児童が徐々に増加している現状から今回の補正となった。利用者とのいろいろな調整の結果、待機児童は出していないが、楽観できる状態ではないと考えている。

◆桑名市国民健康保険税条例の一部改正に対する質疑

Q 市民は保険税率等が改定された結果、自身の保険料がどうなるのかわからない。保険料が低くなる人もいれば高くなる人も。その比率はどうなっているのか。

A 試算によると35%の方が高くなり、65%の方が低くなると考えている。40歳から64歳の介護保険第2号被保険者の方が該当する介護給付金のバランスが崩れており、その部分の割合を上げることになるため、40歳から64歳までの方については保険税が上がる部分があるが大幅な上昇を抑えるため基金を活用する。

審査案件 委員会開催日：12月22日〔審査件数：5件〕

- 議案第134号 平成26年度桑名市一般会計補正予算(第5号)所管部門
- 議案第136号 平成26年度桑名市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第138号 平成26年度桑名市水道事業会計補正予算(第3号)
- 議案第145号 桑名市勤労青少年ホーム条例の廃止について
- 議案第149号 桑名市水道水源保護条例の一部改正について

主な質疑

Q 平成26年度桑名市一般会計補正予算(第5号)所管部門に対する質疑

◆ 農地情報システム事業費について

Q 農地台帳のインターネット等での公表による最終的な目的は。

A 農地の集約を促進し、大規模農家による経営効率化を図ることである。

◆ 道路施設維持補修費について

Q 台風等により民地の法面が崩れ、市道で土砂災害が発生した場合についても市が復旧対応をするのか。

A 災害の発生により道路に生じた支障を早急に解消するため、民地からの影響により発生した災害であっても道路管理者として市が対応している。

Q 平成26年度桑名市水道事業会計補正予算(第3号)に対する質疑

◆ 修繕費の詳細は。

A 本年8月、9月に発生した落雷に伴い焼損した、南部水源池から南部配水場へ送水するポンプの自動運転回路の基板及び西部6号井と西部水源池を結ぶ遠方監視制御装置の基板等の修繕費を計上している。

Q 桑名市勤労青少年ホーム条例の廃止に対する質疑

◆ 廃止に伴い削減される予算はどの程度か。

A 合計で約3,000万円となり、内訳はPFI事業のサービス対価が約1,500万円、そのほかは職員2名及び臨時職員1名の人件費、講座の講師謝礼金や消耗品費等である。PFI事業のサービス対価については、どのような市の施設が入るにせよ、約1,500万円の支出は必要となる。

議案質疑

日本共産党桑名市議団 星野 公平

◆国民健康保険税条例の一部改正について

質疑 保険税はどうなるのか。

答弁 応能負担と応益負担のバランスが崩れてきているので、適正な賦課になるよう作成した。

質疑 高すぎる国保税が払えず、税務課から財産の差し押さえの通知が届く方がたくさんおり、相談が寄せられている。国保は「法」に書かれているように社会保障である。国保事業を運営する自治体は、加入者のみに国保財政の責任を負わせる事のないよう留意し、慎重な対応を行う事が求められている。「13億円ある基金を活用して1人1万円の引下げ」は出さないのか。

答弁 国保税は医療分、後期分、介護分の区分ごとの収支に見合う保険税を賦課するものであり、区分に関係なく一律1万円の引下げを行う事は困難である。

無党派 小川 満美

◆人事院勧告による人件費増について

質疑 平成25年度の全国サラリーマンの平均年収は414万円、桑名市職員の平均年収は約570万円である。

- ①市内の事業所の平均給与と比較しても市職員の給与は低いのか
- ②歳出における人件費比率はどれくらいになるか
- ③経常収支比率との関係は

答弁 ①人事院勧告は事業所規模50人以上の全国の民間事業所の中から無作為に抽出した約12,400の事業所を対象とした調査結果に基づいている。
②人事院勧告に基づく人件費の増額約1億円で、人件費比率は0.2%増加し、20.3%となる。
③経常収支比率は、「経常的に収入される一般財源の額」を分母とし、平成25年度決算の分母は302億円余。1億円の増額は経常収支比率0.3%増となる。

一般質問

新志会

飯田 尚人

◆近年の集中豪雨に対する対策について

質問 深谷地区のさざれ川改修の進捗状況について

答弁 橋梁下流部の河積の不足が道路冠水等の要因と考えるので川床を掘り下げる。周辺に住宅や寺院も有るので今年度中の完成を目指す。

◆学校の非構造部材の震災対策について

質問 市立学校の窓ガラス・本棚等非構造部材の震災対策について

答弁 本市の学校の校舎等構造体の耐震化は完了している。ガラス飛散防止フィルム施工に対して協力頂いている団体に感謝したい。本棚等は、学校防災アドバイザーにご協力をいただき、転倒・落下防止を中心に安全点検を実施しており、今後はガラス飛散防止フィルム施工の他、対象を広げながら、引き続き国・県の制度を活用し着実な事業進捗に努める。

桑風クラブ・無会派 市野 善隆

◆全員参加型市政と市民対話について

質問 行政の押し付けではなく丁寧な市民対話が必要だが、補助金2割カット・市借地問題等、総括副市長の対応は丁寧さに欠け全員参加型とは言い難い。

答弁 ご指摘の件は重く受け止め対応していく。

◆市議会と行政の関係について

質問 一律補助金2割カット・市借地問題に対して委員会附帯決議・委員長報告では「過去の経緯尊重・丁寧な対応」等を議会側は要請しているが対応は。

答弁 しっかりと受け止め対応していく。

◆就学前施設(幼・保)再編について

質問 H27年4月に3中学校区ブロックで先行再編され、その後の再編では施設整備も必要。計画途中に凍結等では先行地区の市民感情への影響がある。

答弁 再編実施計画に従い順次進めていく。

公明党桑名市議員団

畑 紀子

◆子どもたちの安全・安心のために

質問 ゾーン30の設置について。

精義地区にゾーン30が設置された。周辺には小学校や病院があり、現在、登下校中の児童や通院される歩行者の安全が守られている。

今後のゾーン30設置予定について、子どもたちの安全・安心のために全ての学校周辺はゾーン30の設置が望ましいと思うが、通学路の安全対策から学校周辺の設置について問う。

答弁 ゾーン30の設定は歩行者の安全確保が最優先となる。区域内の最高速度が30キロになることへの地域の理解や様々な機関との情報交換を行い、円滑な整備、市民周知に努めていく。子どもたちが安全に通学できる区域であることも設置の大きな要因のひとつ。学校周辺の設置が最優先であると考えている。

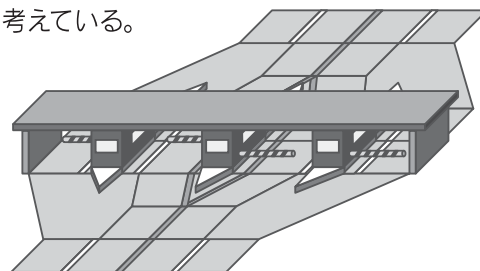
フォーラム新桑名

松田 正美

◆産業振興策と税増収に向けた取り組みについて

質問 少子高齢化が進み生産年齢人口が確実に減る中で、桑名市の安定的な税収確保(特に法人市民税の増収)に向けた取り組みについての市の見解は。

答弁 桑名市には高速道路のインターが市内に5カ所設置されるなど、優れた立地環境にある。しかし、桑名市の魅力や立地環境がしっかりと評価されていないのではないかと考えている。今後地理的優位性を活かした元気なまちの実現に向け、企業誘致を通じて地域産業の活性化に取り組むことで税収増に寄与できると考えている。



一般質問

フォーラム新桑名 倉田 明子

◆教育について

質問 H27年4月教育委員会制度を見直し首長の権限を強化する「改正地方教育行政法」が施行される。市長は常々「子どもは家庭の宝・社会の宝」と述べている。その宝をどのように育む教育を目指すか。

答弁 桑名で生まれ育つ子には、夢を持ち、夢の実現に向かって頑張る力をつけてほしい。それには家庭・学校・地域が一体となって教育を進めるのが大切だ。

質問 二学期制施行から10年を機に市は「桑名郡市二学期制検証委員会」を設置し保護者・教職員にアンケートをとった。その結果をどう生かすか。

答弁 検証委員会は「二学期制は一定の成果があったが『学力向上』等の課題解決のためには三学期制への変更が望ましい」と総括し、教育委員会は意向を受け、平成28年度より三学期制への移行を決定した。

桑風クラブ・無会派 大森 啓

◆地域包括ケアシステムについて

質問 本システムの成功の「鍵」について

答弁 基本理念を関係者全員で共有する「規範的統合」が「鍵」であると考えており、ホームページに限らず、市民の皆さまへ市の目指している方向性について周知・啓発を行っている。

◆学校施設整備事業について

質問 小学校「校庭芝生化事業」に関し、現状・検証・評価・今後について

答弁 校庭芝生化については、先行実施したモデル2校「城南・大山田西小学校」の比較において、児童数・校庭の土壌が大きく影響し、成育などにおいて「向き・不向き」があることがわかった。今後は学校や保護者、地域の皆さまのご意見も参考にしながら、予算的な面も考慮して、そのあり方を考えていく。

日本共産党桑名市議団 石田 正子

◆合併10年間の推移について

質問 合併10年間の推移について所見を問う

答弁 これまでは1市2町の均衡ある発展や行政サービスの格差解消に主眼を置いて取り組みを進めてきた。今後は平成27年度から始まる新総合計画に基づき全員参加型の視点でまちづくりを進める。

質問 地域審議会の今後のあり方を問う

答弁 地域審議会の設置期間の延長はせず、新しい仕組みの中で地域の課題を考えていきたい。

◆子どもの医療費助成について

質問 対象者の拡大について

答弁 現行の制度の維持に努めたいと考えている。

質問 病院窓口での無料化の実施について

答弁 医療費のすべてを現物給付化するとコンビニ受診が増え、更なる財政負担の増加が懸念される。

公明党桑名市議員団 竹石 正徳

◆婚活支援について

質問 「結婚をする意思」があっても、出会いのチャンスに恵まれずにいる人に対し、公的機関が手助け、環境づくりができないものか。

答弁 様々な調査結果、先進事例を参考に、子育て支援や就労支援と連携した総合的な研究をしていく。

◆福祉コンシェルジュの配置について

質問 様々な悩みを抱える人に寄り添い、そのニーズを引き出し、適切なアドバイスを行っていく総合窓口の設置について

答弁 健康と福祉に関する総合的な相談に対応できるよう状況把握に努めるとともに、先進地の事例も踏まえ、身近な相談機関からより専門性の高い相談機関に繋げていけるような連携体制の強化方策の調査・研究を行っていく。

一般質問

桑風クラブ・無会派 富田 薫

◆桑名市の道路整備計画について

質問 桑部・久米地区周辺の環境変化による交通量増加に対応する「桑部橋周辺・歩道等の整備計画」及び「坂井橋周辺の渋滞対策」について

答弁 県道四日市多度線の赤尾北交差点から北へ200mの歩道整備を県へ要望している。また、県道桑名大安線については桑部橋南詰より西側へ400mの区間の用地買収が完了次第、歩道が整備される計画である。桑部橋より星川西別所線まではH30年代前半に完成させる計画である。また、星川交差点の整備については地元自治会連合会からも要望されている。市においても今後、坂井橋交差点の渋滞緩和対策・道路整備を引き続き県に要望していく。島田星川線の整備計画は桑部播磨線の完了の目途がたった時点で県へ要望していく。

無会派 伊藤 恵一

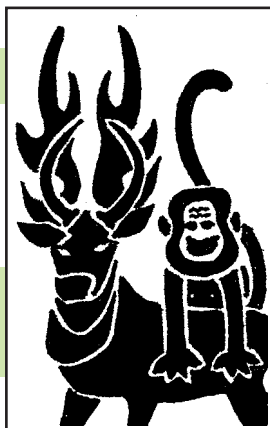
◆サル・シカ・イノシシ対策

質問 今後とも、推進賜りたい。

答弁 おじろ用心棒設置の推進、獣害対策委員会の組織拡大等で獣害に取り組んでいく。

再質問 四日市で導入の1基160万円の捕獲装置の検討を!

再答弁 サルの大型捕獲オリの導入も検討していく予定である。



◆シャッター街解消で、歩いて暮らせるまち作りを!

質問 駅改修も含めた都市計画が期待されているのでは。

答弁 桑名駅橋上駅舎化・東西自由通路等、また民間施設の誘導等による中心市街地のにぎわい創出でシャッター街の解消につなげ、駅周辺のコンパクトな暮らし易いまち作りを進めていきたいと考えている。

桑風クラブ・無会派 中村 浩三

◆地域産業の育成について

質問 桑名市創業支援事業計画について

答弁 本計画では、各事業を通じて年間104件の創業が目標だが、現段階では年度途中でもあり創業件数は各事業をあわせて延べ10件程度である。引き続き、桑名商工会議所をはじめ各創業支援事業者との緊密な連携のもと、しっかりと計画の推進に努力する。

◆観光推進について

質問 伝統と文化を活用した観光推進について

答弁 平成25年度の観光入込客数は約1,000万人(内ナガシマリゾート関連は700万人)である。

「祭り」、「名所」のPRに努め、名所巡りのウォーキングなどを開催し、事業を推進していく。

観光客にいかに長く桑名に滞在していただき、地域経済の活性化につなげていくかを考えていく。

無会派 箕浦 逸郎

◆運動会の組体操での安全対策について

質問 組体操での高段ピラミッド等の種目は、頂点に立っている子どもの高さが3mほどと、落下した時に危険だと思うのだが、過去に練習も含めて事故はあったのか。

答弁 擦り傷等の小さな怪我はあったが、重大事故は起こっていない。

質問 全国では重大事故も含め多くの事故が起こっている。広報くわなの11月号を見る限り、安全対策が十分に行われているとは思えないが、安全対策は十分だったのか。今後も続けていくのか。

答弁 練習も含めて、安全対策は十分にとられている。今後も続けていく。

一般質問

無会派

岡村 信子

◆行財政改革について

質問 総合支所、伊曾島地区市民センターを含む各地区市民センターをどのように再編していくつもりか。

答弁 総合支所のセンター化に向け、検討していきたいと考えている。地区市民センターの統廃合については、地域住民の理解を求めながら、検討していきたいと考えている。

再質問 財政健全化が急がれている中、市民の公平性の観点から、どうして長島地区に、総合支所と地区市民センターの2か所を置く必要があるのか。

再答弁 地区市民センターについては、速やかに統廃合を含めて、検討してまいりたいと考えている。

無会派

水谷 義雄

◆北勢線、養老鉄道について

質問 北勢線は、乗車人数が増えたとはいえ、桑名市からの支出は約1億円前後の負担がかかっている。養老鉄道は年々乗車人数が減少しているが、桑名市の負担は約4,200万円。現状と今後について伺う。

答弁 公共交通機関は、少子高齢化に伴う沿線人口の減少や自動車社会の進展等によって利用者が減り、経営状態の悪化が進んでいる。

今後、行政の公費負担で持続可能な公共交通網を維持・確保が困難になると予想される。今後は地域の皆様が、地域鉄道の重要性を再認識し、利用することで守り育てる意識を高め支えていくことが重要。沿線市町と共にあらゆる検討をし、維持・確保に努める。

本会議・委員会の放映について



※ご使用の環境によりご覧いただくことができない場合があります。

<http://www.kuwana-city.stream.jfit.co.jp/>

上記のアドレスへアクセスしていただくとインターネットによる生放映が視聴できます。

なお、録画放映もご覧いただくことができます。

無会派

伊藤 研司

◆財政がひっ迫する2025年問題を乗り越え、持続可能な桑名市を構築するために！

質問 「2040年には、全国1,800ある自治体の半分の存続が難しくなる」との予測もある。

桑名市でも現在85億円の市民税が(非正規労働者の方々も含め推計すると)最低でも5~6億円が減額するのでは？と予測される。

持続可能な桑名市を構築するためには、コンパクトシティ施策、すなわち多度・長島の総合支所のセンター化への移行を始め、メリハリの利いた予算執行が求められる！

答弁 団塊の世代が給付を受ける側に回ると、医療・介護・福祉サービスの需要が高まり、社会保障財政のバランスが崩れる。

今後、総合支所の規模の縮小も考えている。

桑名市議会からのお知らせ

3月定例会の開催日程

3月定例会は2月25日(水)～3月20日(金)の24日間です。

- 2月25日(水)
本会議(議案上程及び施政方針・提案説明)
- 3月3日(火)～6日(金)
本会議(代表質疑・議案質疑・一般質問)
- 3月9日(月)～12日(木)
常任委員会
- 3月20日(金)
本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)

傍聴してみませんか

本会議や各常任委員会、特別委員会などの会議は傍聴できます。

日程はこの市議会だよりや市議会ホームページに掲載しています。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局にご確認のうえ、お気軽にお越しください。



第7回議会報告会を開催します

平成27年4月24日(金)、午後6時30分から
市民会館など市内4ヶ所において第7回議会
報告会を開催します。

改選後の初議会となった12月定例会や27年度当初予算などの3月定例会の審議の状況や議会活動を中心に報告させていただく予定です。
ぜひ、お近くの会場へご来場ください。

桑名地区

市民会館
(3階大会議室)

大山田コミュニティプラザ
(1階中会議室)

多度地区

多度町総合支所
(2階会議室)

長島地区

長島町総合支所
(2階大会議室)

各会場の議員は今後のホームページやチラシでご確認ください。
また、第1回～第6回の結果はホームページでご覧いただく事ができます。

議会活動状況報告

※定例議会中の定例議会にかかる会議は省略しています

12月

- 2日 議案説明会
- 6日 新桑名市誕生10周年記念式典
- 8日 各派代表者会議
- 9日 12月定例会(閉会12月26日)

- 22日 各派代表者会議
- 23日 広報広聴委員会
- 26日 桑名・員弁広域連合議会臨時議会
- 27日 第149回三重県市議会議長会定期総会
- 30日 委員長会議

- 6日 全員協議会
北勢5市市長・正副議長懇談会
- 12日 全員協議会
総務安全委員会協議会
- 17日 全員協議会
議会報告会班別会議・班長会議
- 18日 各派代表者会議
議会運営委員会
桑名広域清掃事業組合議会定例会
- 23日 桑名・員弁広域連合議会定例会

1月

- 16日 桑名広域清掃事業組合議会臨時議会
- 19日 第70回北勢5市議会懇話会
- 20日 新病院の整備に関する特別委員会

2月

- 3日 関西本線名古屋亀山間複線電化促進協議会
- 5日 広報広聴委員会
議会改革検討会

広報広聴委員会
委員長 伊藤 真人
副委員長 石田 正子
委員 小川 善隆
委員 市野 重之
委員 愛敬 紀子
委員 畑 仲正
委員 満 伸

今回のメンバーで初めて作成した市議会だよりはいかがだったでしょうか。
広報広聴委員会も7人となり一人ひとりの責任も重くなつたと感じつつも、市民の皆様に関心を持っていただき、読みやすいと思つていただけると幸いです。応援をよろしくお願ひします。

編集後記

皆様のご意見をお寄せください

市議会や市議会だよりに対するご意見、ご要望等がございましたら、議会事務局までお寄せください。

お問い合わせ

桑名市議会事務局

〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話:0594-24-1304/0594-24-1305
FAX:0594-24-1359
メールアドレス:gikaijm@city.kuwana.lg.jp

市議会の詳しい情報は桑名市議会のホームページをご覧ください。

桑名市議会

検索